

編 集 発 行

広島県三次市吉舎町
広島県日彰館同窓会

印 刷

佐々木印刷株式会社



校舎と桜

館祖祭祭文

寒暖の差を感じながらも4月の声を聴くと、まるで初夏のような日々が続いています。本日、ここ普逝寺本堂において、日彰館同窓会会員のみなさま、館祖のご遺族様、多くのご来賓の方々にご列席いただき、平成30年度館祖祭を執り行うに当たり開催出来ることに喜びと、感謝申し上げ、館祖奥愛次郎先生はじめ日彰館にご縁をいただいた歴代の諸先生のご霊前に日彰館の現状をご報告申し上げます。

創立以来124年を迎えました。日彰館高校はとても元気で様々な分野で活躍しております。少子化の中、本年は定員を上回る応募をいただき、80人の定数となりました。生徒の皆さんの活躍と先生方の並々ならぬご尽力のおかげだと思えます。

進路の状況は国公立(9名)含む大学進学は39名(内短大4名)、専門学校16名、就職10名となっております。

クラブ活動の状況は、剣道部は三次地区新人剣道大会男子団体1位、女子団体1位、剣道形男子1位、3位、女子1位、3位。陸上部は三次地区選手権大会男子総合2位、女子総合1位、三次地区新人大会男子2位、女子2位、三次駅伝大会男子2位、女子2位。ソフトテニス部は三次地区大会男子団体優勝。吹奏楽部は県大会小編成部門金賞受賞、第55回吹奏楽祭廿日市教育委員会賞受賞、エリザベト音楽大学賞受賞。書道部は書道S-1グランプリにおいて準グランプリ2名、まほろば賞1名、特選2名。美術部は第41回全国高等学校総合文化祭2名出場、広島県高等学校写真展5名入選、3名全国大会推薦、な

ど様々な分野で活躍しております。

地域の学び舎として学校当局としても様々な取り組みをしていただいております。昨年はギネス挑戦(顔出しパネル)をしていただきました。見事にギネスブックに登録されました。学校と地域が一体となり様々なコミュニケーションを図りながら元気の出る学校、勢いのある地域を作ることにご協力いただきました。

そしてまた、吉舎おもてなし会議では、日彰館高校が中心となり、広島大学留学生との交流おもてなし活動、会話、地域の掘り起こし等、グローバル人材を目指してご努力いただいております。1年を大事に、1日を大事に、日彰館高校を目指していただける要素を多くしていきたいと思えます。

同窓会は本年より、創立125周年記念事業の取り組みを開始します。記念写真集を作成し、同窓会の一部運営資金とさせていただきたいと思えます。同窓会会員の皆様にはご負担をお願いすることとなりますが、ご協力をお願いする所存です。

そして、同窓会の更なる発展を目指し、たくさんの情報発信と連絡を充実してゆきたいと思えます。会員の皆様を重ねてお力とご協力をお願い申し上げます。同窓会の益々の発展を祈念し、ご加護をお願いし、ご報告とさせていただきます。

平成30年4月29日

広島県日彰館同窓会
会長 春 田 佳 伯

平成30年度 館祖祭並びに本部総会報告

館祖祭

- 会場 善逝寺本堂
 時間 9:30~10:10
 次第 1. 開式の辞
 2. 黙祷
 3. 読経
 4. 祭文朗読(会長 春田佳伯 様)
 5. 焼香(ご遺族・ご来賓・各支部長~他は回し焼香)
 6. 館祖祭の歌
 7. 閉式の辞

創立125周年記念行事について承認を求める件
 ・承認事項

創立120周年記念事業(継続)について承認を求める件

役員の交代・変更について承認を求める件

9. 閉会の辞

【記念写真撮影】

吉舎生涯学習センター前 中庭

時間 11:30~11:45

同窓会総会

- 会場 吉舎生涯学習センター
 時間 10:30~11:30
 次第 1. 開会の辞
 2. 黙祷
 3. 同窓会会長挨拶(会長 春田佳伯 様)
 4. 祝辞(広島県議会議員 下森宏昭 様)
 5. ご遺族・ご来賓紹介
 6. 会務報告並びに諸報告
 7. 母校現況報告
 (日彰館高等学校 教頭 杉野 誠 様)
 8. 議事
 ・第1号議案
 平成29年度会計決算について承認を求める件
 (監査報告)
 ・第2号議案
 平成30年度予算(案)について承認を求める件
 ・第3号議案

本部同窓会懇親会

- 会場 吉舎生涯学習センター
 時間 12:00~13:30
 司会 昭和61年3月卒業生代表(大平雅芳・柳生美恵)
 次第 母校吹奏楽部演奏(15分程度)
 1. 開会の言葉
 2. 挨拶(同窓会副会長 千嶋一郎 様)
 3. 来賓祝辞(三次市長代理三次市吉舎支所次長 伊達浩史 様)
 4. 乾杯(ご発声 東京馬洗会代表 杭迫重臣 様)
 5. 懇親(各支部代表によるスピーチ 2分程度)
 *カンパ贈呈(当番幹事代表から学校長へ)
 6. 当番幹事学年引き継ぎ
 (昭和61年卒業生代表から昭和62年卒業代表へ)
 7. 校歌斉唱
 8. 万歳唱和
 (ご発声 三次市議会議員 岡田美津子 様)
 9. 閉会の言葉

平成29年度会務報告

- 4月2日 館祖祭・同窓会総会予告看板掲示(毘沙門橋付近、上下分かれ)
 7日 第49回入学式(日彰館高校体育館)
 11日 新入生75名記念館来館
 13日 広島県日彰館同窓会会計監査(奥記念館)
 14日 日彰館高校歓迎会~むらたけ総本家~
 15日 館祖祭次期当番幹事会第6回(昭60年卒)~吉舎生涯学習センター~
 29日 館祖祭記念剣道大会(日彰館高校体育館)
 館祖祭・同窓会総会準備~善逝寺・吉舎生涯学習センター・三祖墓地ほか
 30日 館祖祭・同窓会総会
 ~善逝寺・吉舎生涯学習センター
 当番幹事学年同期会(三次グランドホテル)
 5月27日 日彰館高等学校奥記念館周り清掃作業(事務局)
 29日 日彰館高等学校奥記念館周り草撤去作業(事務局)
 30日 日彰館高等学校教育振興協議会総会(日彰館高校)
 日彰館高等学校奥記念館周り清掃作業(事務局)
 6月17日 日彰館高校 日高祭(~合唱コンクール他)
 18日 日彰館高校 日高祭(~ステージ発表、展示、模擬店)
 7月1日 館祖祭平成29年度当番幹事から次期当番幹事への引き継ぎ会(奥記念館)

- 6日「吉舎お・も・て・な・し会議」第1回会議(日彰館高校)
 22日 学校紹介イベントサングリーン
 ~三次サングリーン~
 館祖祭次期当番幹事会第1回(昭61年卒)
 ~三良坂コミュニティーセンター~
 8月20日 日彰館高校オープンスクール(参加数約200名)
 23日 館祖祭次期当番幹事会第2回(昭61年卒)
 ~三良坂 吉俣~
 9月21日「吉舎お・も・て・な・し会議」第2回会議(日彰館高校)
 24日 体育祭(日彰館高校)
 28日 館祖祭次期当番幹事会第3回(昭61年卒)
 ~三良坂コミュニティーセンター~
 10月15日 吉舎巴祭り~日彰館顔出しパネルギネスに挑戦(日彰館高校体育館)
 16日 日彰館高校・三次青陵高校合同芸術鑑賞会(三次市民ホール きりり)
 21日 東京支部東京馬洗会支部総会(東京霞ヶ関)
 ~雲井事務局長・吉田校長出席~
 28日 吉舎町内同窓会報発送作業(吉舎地区役員、日彰館高校)

30日 日彰館高校学校関係者評価委員会(日彰館高校)
 11月1日 日彰館高校文化週間(～7日)
 11日「吉舎お・も・て・な・し」プラン
 ～広島大学留学生～12日
 18日 広島支部総会(ホテルセンチュリー21広島)
 ～春田会長・吉田校長出席～
 22日 館祖祭次期当番幹事会第4回(昭61年卒)
 ～三良坂コミュニティーセンター～
 29日 第1回三役会(奥記念館)
 12月7日 館祖祭次期当番幹事会第5回(昭61年卒)
 ～山中宅～
 24日 第12回プラスバンド・クリスマスコンサート
 (日彰館高校他近隣中学校・高等学校吹奏楽演奏会)
 ～三次市民ホール きりり～
 1月12日 新春百人一首かるた大会・新春茶会(日彰館高校)
 2月2日 館祖祭次期当番幹事会第6回(昭61年卒)
 ～三良坂コミュニティーセンター～
 9日 奥記念館整備部会(奥記念館)
 10日 第2回三役会議(奥記念館)
 28日 同窓会入会式(日彰館高校)
 3月1日 第49回卒業証書授与式
 卒業生担任懇親会～むらたけ総本家～

2日 館祖祭次期当番幹事会第7回(昭61年卒)
 ～山中宅～
 9日 日彰館高校学校関係者評価委員会(日彰館高校)
 17日 役員総会(三次広域商工会吉舎支所)
 25日 第11回日彰館高校吹奏楽部定期演奏会～吉舎生涯学習センター～
 30日 館祖祭・同窓会総会予告看板掲示
 (毘沙門橋付近、上下分かれ)
 4月9日 第50回入学式(日彰館高校体育館)
 10日 新入生80名記念館来館
 13日 広島県日彰館同窓会会計監査(奥記念館)
 14日 館祖祭次期当番幹事会第8回(昭61年卒)
 ～奥記念館及び山中宅～
 20日 日彰館高校歓迎会～月彩～
 28日 館祖祭・同窓会総会準備～善逝寺・吉舎生涯学習センター・三祖墓地ほか
 29日 館祖祭・同窓会総会～善逝寺・吉舎生涯学習センター
 当番幹事学年同期会(三次ワイナリー)
 館祖祭記念剣道大会(日彰館高校体育館)

■第1号議案 平成29年度会計決算

①一般会計決算

〈収入の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
繰越金	269,197円	269,197円	
会 費	1,000,000円	750,000円	
(一般分)		410,000円	56件
(生徒分)		340,000円	平成29年度卒業生 68名
雑収入	250,000円	216,130円	
(協力金)		132,500円	51件
(その他)		83,630円	館祖祭御供・その他
利 子	1,000円	12,446円	ゆうちょ(1円、3,745円、1円、1,991円、6,708円)
繰入金	1,100,000円	1,085,000円	積立金取崩
	100,000円	100,000円	同窓会運営基金(120周年特別会計より)
合 計	2,720,197円	2,432,773円	

〈支出の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
会 議 費	30,000円	22,180円	総会資料作製、役員総会等
行 事 費	70,000円	42,400円	総会写真等
慶 弔 費	25,000円	0円	
卒業記念品費	36,000円	29,376円	卒業証書筒
旅 費	250,000円	85,600円	東京支部総会等旅費
生徒活動助成費	100,000円	97,780円	全国総合文化祭宮城大会(写真部門)
通 信 費	500,000円	461,087円	電話代、インターネット代、郵便・HP管理手当等
印 刷 費	600,000円	514,234円	会報・払込票等各種印刷
事務手当費	600,000円	600,000円	事務局手当
雑 費	170,000円	50,850円	支部総会祝金、振替口座加入者負担等
館報積立金	0円	0円	積立停止中
特別積立金	0円	0円	積立停止中
事務用品費	200,000円	157,872円	インク代、用紙、パソコン機器更新
予 備 費	109,197円	0円	
転退職記念品費	30,000円	34,000円	餞別(8名)
次年度繰越金	0円	337,394円	
合 計	2,720,197円	2,432,773円	

②特別会計決算

1. 特別積立金	10,332,612円	2. 館報積立金	1,006,605円
ゆうちょ銀行定額	77,000円	ゆうちょ銀行定額	300,000円
			201,000円
両備信用組合定期	1,011,947円	両備信用組合定期	202,042円
広島銀行 定期	5,120,177円	定期	303,563円
定期	4,123,488円		

合 計

11,339,217円

③平成29年度創立120周年記念事業特別会計決算報告 (収入の部)

項 目	予算額	決算額	付 記
繰越金	5,508,719円	5,508,719円	
利 子	81円	12円	ゆうちょ預金(6円、6円)
合 計	5,508,800円	5,508,731円	

(支出の部)

項 目	予算額	決算額	付 記
教育振興助成費	300,000円	300,000円	日彰館高校教育振興助成
奥記念館整備費	500,000円	41,707円	奥記念館所蔵品目録作成 県立後歴代同窓会長肖像写真掲示
同窓会運営基金	100,000円	100,000円	同窓会一般会計助成
予 備 費	82,300円	0円	
特別会計積立金	5,151,000円	5,067,024円	次年度繰越金
合 計	11,642,031円	5,508,731円	

③平成30年度創立120周年記念事業特別会計予算(案) (収入の部)

項 目	予算額	付 記
繰越金	5,067,024円	
利 子	10円	
合 計	5,067,034円	

(支出の部)

項 目	予算額	付 記
教育振興助成費	300,000円	日彰館高校教育振興助成
同窓会運営基金	100,000円	同窓会一般会計助成
125周年記念事業費	500,000円	創立125周年記念事業活動資金
予 備 費	67,034円	
特別会計積立金	4,100,000円	次年度繰越金
合 計	5,067,034円	

監 査 報 告 書

次のとおり、監査を実施したので、報告します。

1. 日 時 平成30年4月13日(金) 13時30分～
2. 場 所 日彰館高等学校 奥記念館1階 会議室
3. 監査内容 平成29年4月1日より平成30年3月31日に至る一般会計並びに特別会計、創立120周年記念事業特別会計について、監査を実施したところ、関係諸帳簿は正確かつ適正に処理されており相違ないことを認めます。

監事 山田 栄江[㊞] 加川 直幸[㊞]
溝上 洋[㊞]

■第2号議案 平成30年度予算(案)

①平成30年度一般会計予算(案)

(収入の部)

項 目	予算額
繰越金	337,394円
会 費	1,000,000円
(一般分)	
(生徒分)	
雑収入	250,000円
(協力金)	
(その他)	
利 子	100円
積立金取崩	1,000,000円
同窓会基金繰入金	100,000円
合 計	2,687,494円

(支出の部)

項 目	予算額
会 議 費	30,000円
行 事 費	70,000円
慶 弔 費	25,000円
卒業記念品費	36,000円
旅 費	250,000円
生徒活動助成費	100,000円
通 信 費	600,000円
印 刷 費	600,000円
事務手当費	600,000円
雑 費	150,000円
事務用品費	50,000円
予 備 費	146,494円
転退職記念品費	30,000円
次年度繰越金	0円
合 計	2,687,494円

※ 項目間の流用を認める。

②平成30年度特別会計予算(案)

1. 特別積立金 10,332,612円
 2. 館報積立金 1,006,605円
- 合計 11,339,217円

うち特別積立金取り崩し 1,000,000円を一般会計へ

差引 10,339,217円

■第3号議案 日彰館創立125周年記念行事(案)について

1. 創立125周年記念「日彰館写真集」(BOOK)製作
・2020年秋の発刊(同窓会報発送時期)を目処とする
2. 「日彰館同窓会基金」の創設
・継続的な同窓会活動の基盤を確立するため
3. 組織
・創立125周年記念事業実行委員会の設置
4. 募金活動
・募金総額 600万円
・募集期間 2018年5月～2019年12月(予定)
・募金趣意書並びに広告協賛依頼書
5. 活動資金
・創立120周年記念事業特別会計より、50万円を助成する
・創立125周年記念事業特別会計を設置し、管理する

■承認事項

1. 日彰館高等学校創立120周年記念事業(継続)について

- ①日彰館教育振興助成
30万円(日彰館高校教育振興協議会へ助成)
- ②日彰館同窓会一般会計助成
10万円

2. 役員の交代・変更について

①辞任

監 事 佐伯 豊(昭和42卒)(吉舎支部)
理 事 伊達 亮詞(昭和34卒)(三次支部川地支部)
評議員 戸田 肇(昭和33卒)(三次支部)

②就任

監 事 加川 直幸(昭和47卒)(吉舎支部)
理 事 伊藤 弘(昭和46卒)(三次支部川地支部)
理 事 山田 実(昭和60卒)(吉舎支部)
理 事 小河内幸則(昭和60卒)(吉舎支部)
理 事 伊達 康宏(昭和60卒)(吉舎支部)
評議員 若 俊治(昭和45卒)(三次支部)
評議員 平岡 恵子(昭和47卒)(吉舎支部中四字)



平成30年度 館祖祭当番幹事（昭和61年3月卒）

「繋がる喜び」

実行委員長 藤井 憲一郎

母校である日彰館高校を卒業するや否や18歳で上京し、今思えばただ面白おかしく悪戯に過ごしていた25年という月日。当初は待ちわびていたお盆・お正月・GWの帰省も、時が経つにつれ郷愁は薄れていきました。父の他界などもあり、紆余曲折はありましたが43歳にして郷里に戻る事を決意しました。長年留守にしていた私が今こうして居られるのも、地元で生活をし始めるに当たって暖かく迎えてくれた「同級生」の存在があったからこそ感謝しております。そして日常の中で一人また一人と「同級生」との再会を重ね、旧交を温める事に喜びを感じておりました。

数年前より折にふれて「館祖祭」の話題が出るようになりましたが、どこか身近に感じられずにおりました。一昨年「広島県日彰館同窓会」の理事を拝命すると共に「館祖祭・本部同窓会懇親会」の来賓としてご案内を頂きました。諸先輩方の錚々たるお顔ぶれに萎縮し立ち振る舞いも美しく出来ませんでした。幸いな事に当番幹事の皆様のご尽力を間近に拝見する事が出来ました。昨年は次年度実行委員として、準備段階よりご苦労されている様も拝見致しました。

そして本年度、いよいよ当番幹事の年となりました。集った実行委員は献身的であり、個々得意分野を持ち、そしてスキルが高い精鋭揃いでした。逆に私に出来る事は「実行委員長」しかなく、そして喜んで「実行委員長」を受けさせて頂きました。

昭和61年度卒業生が社会に出る頃と言えば、丁度世がバブル景気に突入するタイミングでした。地元を

離れた「同級生」も数多くおり、住所を確認して案内を送る作業でも、現住所の判明しない場合には最終的に手分けしながら実家を訪問するという、本当に素晴らしい行動力のある「実行委員」に恵まれ、準備万端整い「館祖祭」当日を迎える事が出来ました。

過疎化少子化による生徒数の減少や個人情報の保護が叫ばれる昨今において、今まで通りの「館祖祭・本部同窓会懇親会」を続けて行くのは困難になるのではないかという不安もあります。

次年度当番幹事の皆様は開校125周年記念の受け持ちとなりますので、今年度以上にご苦労されるのではないかと思います。「同窓会本部懇親会」が終了し、会場の整理が終わった後の挨拶でも申し上げましたが、当番幹事の感じた苦労は教訓としてしっかりと次年度に引き継ぎ、来年の125周年記念が成功裏に終わるよう協力したいと、この度の「実行委員」は皆思っております。「同期会」にも恩師を含め多数参加があり、30余年の空白を埋める楽しい時間を過ごす事が出来ました。これを契機に立ち上がった「LINEグループ」はその後「ピコーン♪ピコーン♪」と鳴っております。

そんな繋がりを改めて構築する機会を与えてくれた「館祖祭」を未来永劫引き継ぐため、母校の現状を知り将来を支援するのが卒業生の務めであると再認識致しました。

ご来賓の皆様、役員・各支部の皆様には、不行き届きが御座いましたら何卒ご容赦賜りますようお願い申し上げますと共に「日彰館同窓会」の益々のご発展をご祈念致し、この寄稿にて御礼と変えさせて頂きます。

同級生と会うために(人探しの苦勞)

事務局 山 中 浩

さかのぼること1年半前、1つ上の先輩が電話をしてきて、「山中君、今日家にいるかい？話があるからこれから家に行くから」かけてきました。その先輩は同じ地域に住むので、日ごろから話をしていたので「今日は何の話だろう？」と考えていました。

そして先輩はたくさんの荷物を持ってきて「山中君、来年50歳になるよね。日彰館を卒業して50歳になる歳は同窓会の幹事をすることになるのは知っているよね。そこで、次期幹事は任せたからね。」と、とてもテンポよく訳もわからないうちに、一任されてしまいました。

先輩からは、「まずは同級生の人探し。式典などは4月29日が近づいてから。でもこの人探しが大変だよ。」と、アドバイスをもらい、地元に残っている同級生に声をかけ相談して、十名程度の実行委員がそろいました。久々に会って一杯を交わしながら話をする懐かしい話。高校の同窓会は1度もしたことがなく、どうやって同級生を探すかを模索しました。

先輩の話で「まずは卒業アルバムにある住所に館祖祭案内の郵便を出したのだけど、半分以上が戻ってきた。」と。そのことを踏まえ案内手紙を出す前に同級生で手分けをして現在の住所を探し出すことにしました。自分たちの同級生200人。12月に事前案内を出す際には130人の確実な住所録はできました。そして案内を発送しましたが、35通が宛先不明で帰ってきました。想定通りではあったのですが、もっと聞き込みをしていかないと考えるばかりでした。

式典などの準備はコツコツと進んでいましたが、今年は第2回目“出席手紙”を出すのを遅らせました。というのは出席などあまりにも早ければ予定が立たずに“欠席”にする人が多いのでは？という予測で3月に発送しました。でも取りまとめに4月はちょっと忙しかかったのですが、これでよかったかなという感想です。

結果52人の同級生が参加してくれ自己目標の60人には達しませんでした。楽しい同期会を行うことが出来ました。最終的に10人の住所がわからず、探し出して上げられない人への懺悔の気持ちはずっと持っています。

1度幹事をやってみると2回目は簡単だと思いました。でも初めてやる次期幹事の時には不安でいっぱいですので、それをどれだけ次期幹事に伝えられるかをアドバイスできればと思っています。

館祖祭を終えて

事務局 戸 島 千 佳

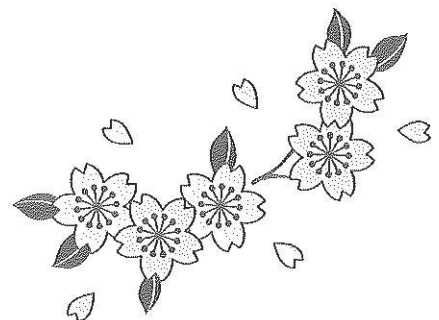
「館祖祭」という存在は聞いたことはあったものの、どんな意味があるのか、どんなことをするのか全く認識がなく、自分とは遠い存在だった2年前。それが、地元に住んでいるということで、実行委員会にと声がかかり一気に大きな存在となりました。

昨年の「館祖祭」に参加させていただき、脈々と受け継がれてきたこの行事に驚き、感銘を受けました。と同時に、来年は私たちが実行委員として運営していかなければいけないという緊張や責任も感じたことを覚えています。

そして、1年かけての準備が始まりました。みんな仕事をしながらの準備で、なかなか全員がそろえるということは難しかったのですが、できることを役割分担してそれぞれが役割を果たすという連携プレイで、準備を進めることができたと思います。特に、当日まで中心となり動いてくれた実行委員長の藤井君、事務局長の山中君には大変お世話になりました。当日は、実行委員みんな緊張の1日となりましたが、手伝ってくれた幹事学年のみなさん、日彰館高校OBのみなさん等たくさんの方々のお力のおかげで無事終えることができました。本当にありがとうございました。

その後の同期会では、恩師や同級生と再会し、楽しいひと時を過ごすことができました。中には、高校卒業以来、初めて会う人もいましたが、気持ちはあの頃と変わらないまま…時間を忘れて懐かしい話に花が咲きました。「同級生っていいなあ」と感じたありがたい時間でした。また、今回参加できなかった方からも、たくさんメッセージをいただき、色々なところで活躍されている同級生の今を知ることができ、心強く思いました。

この度、「館祖祭」に関わらせていただいたおかげで、同級生と共有の目的を持ち、共に喜びを感じることができたこと、同級生との輪が広がったこと、そして、人との繋がりが増えたことに感謝しています。これからも「館祖祭」そして、母校日彰館高校の歴史が続いていくことを祈念しています。





平成30年度 広島県日彰館同窓会 本部総会記念写真



支 部 だ よ り

東 京 支 部

平成29年度東京支部 総会・懇親会報告。

支部長（昭和40年卒） 杭 迫 重 臣

平成29年度の東京支部（東京馬洗会）総会並びに懇親会は10月21日（土曜日）午後12時30分から東京・霞が関ビル35階、東海大学校友会館・富士の間にて開催されました。当日は多忙なかにもかかわりませず各方面からの来賓の皆様のご臨席を賜り、旧交を温め、盛会の内に終了しました。関係者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

当日は、冒頭、この1年間でお亡くなりになられた物故者の皆様のご冥福をお祈りして黙祷を捧げました。

続いて総会は、1年間の活動報告そして会計報告が行われ、満場一致で承認されました。

当日は、遠路にもかかわりませず、来賓として吉田日彰館高校校長、雲井本部同窓会事務局長、吉宮世羅高校東京校友会会長、古野三次市地域振興部定住対策課課長のご臨席を賜り、高校や同窓会や県北の近況などを報告いただきました。参加者は約1年振りに聞く故郷の近況とあって真剣に耳を傾けておられました。

お酒も進み、懇親会は随所で盛り上がる中、恒例のビンゴゲーム。「ビンゴ！」の発声と共に随所で歓声が響き、楽しいひと時を過ごしました。各方面から過分なるご協賛の品々をご恵贈いただきましたこと、紙面をお借りして御礼申し上げます。

引き続き二次会には吉田校長、雲井事務局長、吉宮会長もご出席いただき、大いに盛り上がり、午後6時、盛況な内に散会となりました。



平成29年度 総会 & 懇親会 平成29年10月21日

東京馬洗会 第5回 観桜会を開催

報告(昭和40年卒) 杭迫重臣

平成30年4月2日(月曜日)、東京・上野公園にて第5回観桜会を開催しました。

年初から2月にかけての厳冬や豪雪からして「今年の開花は遅いのでは」との予測が外れ、ただでさえ全国的にも開花の早い関東地域、開催日当日は前日の強風も災いし、見納めの観桜会となりました。

懇親会場は、上野精養軒直営に「3153店」。総勢20名(男女各10名)の方が参加されました。卒業年次は昭和32年～54年までの幅広い世代の方々が参加されました。

参加者は昨年10月の東京馬洗会総会以来、久々の再会の人も多く、随所で「乾杯!、久しぶり!」そして近況の語らいが続きました。「桜は散ろうとしているが、我々はまだ5分咲き、満開になるのはまだまだ先の話」といった声も。そして午後2時過ぎまで、和やかな歓談が続きました。

今年も上野精養軒に勤務されています昭和54年卒業の清田祐司様に沢山のお気遣いをいただき、美味しいバイキング料理と酒類で全員が満足、楽しいひと時でした。

明年も4月2日(火曜日)、同じ会場にて開催しますので、お誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。

東京馬洗会／東京庄原格致会／東京西城会(庄原市西城町出身)の3会合同懇親ゴルフを開催

報告(昭和40年卒) 杭迫重臣

東京馬洗会、庄原格致高校の同窓会である東京庄原格致会、庄原市西城町出身者で構成される東京西城会の3会合同による懇親ゴルフを開催しました。

本会は春秋2回の開催を基本としており、第1回は平成28年秋、第2回は平成29年春に開催、同年秋の第3回は10月30日(月)千葉県野田市の紫カントリークラブあやめコースで、第4回は平成30年4月24日(火)千葉県印西市の泉カントリー倶楽部で開催しました。

第3回大会は、三次高校に在学され、お父様の仕事の関係で広島に転校された松本弘行様(暫定措置として東京馬洗会所属)が、初出場ながらOUT46、IN41、GROSS87、HDCP14.4、NET72.6で優勝されました。

そして今年4月に開催した第4回大会(幹事役は東京馬洗会)は東京庄原格致会所属の亀井勲三様がOUT40、IN40、GROSS80、HDCP7.2、NET72.8で優勝されました。亀井様は第1回大会に次ぐ優勝、しかも今回はベストグロスの栄にも輝かれました。

プレー終了後の表彰式・懇親会はゴルフ談義、県北の話題などで盛り上がり、盛会の内に終了しました。

なお、第5回大会(幹事役は東京庄原格致会)は、平成30年10月16日(火)千葉県野田市の紫カントリークラブあやめ西コース(スタート時間は9時26分)にて開催されます。母校はもとより、3会のご関係者であればどなたでも参加可能です。奮ってご参加ください。



東京観桜会

広 島 支 部

平成29年度日彰館同窓会広島支部総会によせて

広島支部長（昭和45年卒） 折 出 幸 二

平成29年度日彰館同窓会広島支部総会を平成29年11月11日、ホテルセンチュリー21広島で開催しました。本部同窓会総会より春田同窓会長、湯免顧問含め28名参加していただきました。広島支部の同窓生以外からの参加も受け付けており、当日数名ご参加いただきました。

常連参加者の高齢化により参加人数も減少しており、新規勧誘もままならず、悩みの種となっています。

参加していただいている皆様には、如何にして楽しんでもらえるか、主催者側として思案のしどころですが、ひとつの方法として、受付、司会、進行補助等のお手伝いしていただければと思ひまして現状おねがいしています。幸いにして、皆様、快諾していただいております、大変感謝しています。

本部同窓会のホームページにも記載して参加者を募ることも必要と思います。次年度も開催予定していますので、地域関係なく参加していただければと切に願っております。



母 校 だ よ り

平成29年度 近況報告

創立123年を迎えた平成29年度は、120周年を機にスタートしたカリキュラム構想「グローバル人材育成プログラム120」の取組が定着してきました。また、プログラムスタート時に構想した学校経営計画(3年で1サイクル)も完結年度となり、様々な面でその成果が表れる年となりました。

昨年度の主な取組

グローバル人材育成プログラム120の目標のもと、グローバル・ローカルそれぞれのプログラムの中で、現代版「田舎主義」の実践をテーマに、平成29年度わくわくプロジェクトとして取り組みました。

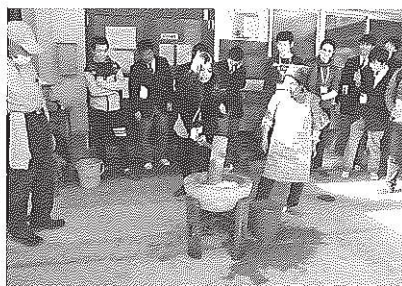
① グローバルプログラム

・1年次の広島大学短期交換留学生との交流事業 (吉舎おもてなしプラン)

11月11日(土)、12日(日)に広島大学の短期留学生(HUSA)20名(9か国)を迎えて実施。国際交流会やホームステイ受け入れ等を行いました。



書道体験



餅つき体験

「グローバル人材育成 プログラム120」の概要

「グローバルな視野を持って地域貢献できる生徒」の育成目指し、この中山間部にいながらも、世界を感じ視野を広げるとともに、地域とのつながりを活かし、世の中に貢献する喜びを感じることでできる機会を設け、生徒の可能性を高める。

・2年次の台湾研修旅行

10月23日(月)～26日(木)に2学年72名が参加して実施。苗栗高級中学との交流会の後、本校同窓生で蓬莱米の研究で知られ「台湾農業の父」と評されている、台湾大学磯永吉先生の研究室の訪問をしました。



訪問団と苗栗生徒・教員



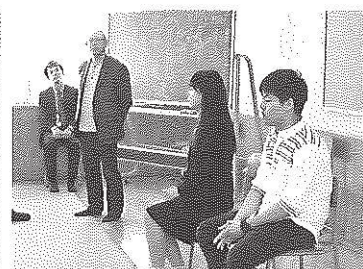
台湾研修旅行

・台湾講座の実施

県立広島大学地域連携センター上水流准教授をはじめとする外部講師により5回の連続講座を実施。「行った後の学習の大切さ」を痛感しました。



第1回 上水流先生の講演



第3回 台湾の方の話

② ローカルプログラム

・第4回「ようこそ先輩」(OB講演会)

～後輩への熱いメッセージ～

SUPPOSE DESIGN OFFICE

谷尻 誠氏(平成4年卒)

平成29年5月13日(土)(PTA総会)

演 題 「夢」を切り拓く～「change」～



谷尻 誠氏

・顔出しパネル世界記録挑戦イベント

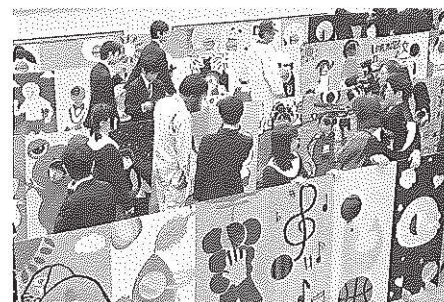
平成29年10月16日(日)、当時の世界記録を72枚上回る372枚の顔出しパネルを本校体育館に渦状に並べることに成功。同年12月にギネスワールドレコーズより世界記録に認定されました。地域の皆様の全面的なご協力のもと、企画を始めて4年目の快挙達成でした。



顔出しパネル作成風景



所狭しと並んだパネル



当日、会場にて

一定の成果を示した平成29年度

こうした一連の取組は、生徒の総合的な成長へとつながり、単にその行事だけでなく日常生活にも影響を与え、最終的には様々な場面での生徒の活躍という成果につながりました。

部活動での活躍

吹 奏 楽 部	第58回広島県吹奏楽コンクール 小編成部門 金賞受賞 第55回中国中学校・高等学校吹奏楽まつり 廿日市教育委員会賞、エリザベト音楽大学賞受賞
剣 道 部	中国高校剣道選手権大会(女子個人) 吉川聖月 中国大会出場 平成29年度広島県高等学校新人剣道大会 (男子剣道形) 今井 健太、片山 公我 組 1位、今井 康太、中山 俊樹 組 3位 (女子剣道形) 尾崎まほろ、清水 菜由 組 1位、増井 心愛、加藤 千秋 組 3位 (女子団体) 中国新人大大会出場

美術部 写真班	第41回全国総合文化祭(2017みやぎ総文祭)写真部門 2名出場 第49回広島県高等学校写真展 第42回全国総合文化祭へ3名推薦
書道部	広島県高等学校書道連盟席書大会 優秀賞2名、秀作3名、入選4名 全国高校生〈書道〉S-1グランプリ 準グランプリ2名、まほろば賞1名、 特選2名
美術部 美術班	第41回全国高等学校総合文化祭ポスターコンクール 特選1名、入選2名 第41回全国高等学校総合文化祭絵画の部 入選1名 広島県高等学校デザインコンクール 入選1名

※他の部活動にあっても、成果に関わらず、真面目に活動に取り組んでいます。また、朝のあいさつ運動をはじめ、地域貢献の活動の輪も広がっています。

進路実績

① 内訳

大 学		短 大		専 門		就 職	公務員
国公立	私立	公立	私立	県立	私立		
9	26	0	4	3	13	9	1
35		4		16		9	1
51.5%		5.9%		23.5%		13.2%	1.5%

② 進路先 (○数字は人数。1 名の場合は省略)

大 学

＜国公立大学＞ 島根大学、山口大学、高知大学、
福知山公立大学、尾道市立大学
県立広島大学③、高知県立大学

＜私立大学＞ 広島経済大学、広島工業大学、
(県内) 広島修道大学②、広島女学院大学
広島文教女子大学⑥、福山大学②、
比治山大学④、福山平成大学
広島文化学園大学②、
(県外) 広島国際大学②、広島国際学院大学
秀明大学、関西医療大学、
岡山商科大学、岡山理科大学②、
就実大学②、美作大学、
倉敷芸術科学大学②、
環太平洋大学③、東亜大学

短期大学

＜私立短期大学＞

山陽女子短期大学、比治山短期大学、
宇部フロンティア大学
兵庫大学短期大学部、大阪芸術短大

専門学校

＜公立専門学校＞

広島県立三次看護専門学校

＜私立専門学校＞

広島情報専門学校、
広島ビジネス専門学校、
広島美容専門学校、
福山YMC A国際ビジネス専門学校
広島福祉専門学校 等

就 職

カイハラ産業株式会社、
株式会社ジェイ・エム・エス三次工場②
都吹株式会社、有限会社アトリエファム、
カワシマ興産株式会社
NSウエスト株式会社、株式会社白鳳堂

公務員

備北消防



吹奏楽部



剣道部



美術部写真班



書道部



美術部美術班



平成30年度も全力で前進します。同窓生の皆さん 応援を宜しくお願いします!!

編集後記

新たな出会いがありました。5月に台湾苗栗高級中学との文化交流が日彰館高校で行われた際に、磯永吉氏(明治38年3月日彰館中学校卒業)が台湾において米の品種改良で開発した「台中65号」(別称「蓬莱米」)を使って、日本で日本酒造りをされている蔵人陳韋仁氏も同行され、自身の作られた「台中65号」という日本酒を磯永吉氏の「学勲碑」に報告されました。続いて同窓会「奥記念館」を訪問され、日彰館や磯永吉氏のことについて事務局が説明させていただきました。

約100年の時を経て、磯永吉氏の開発した「台中65号」のお米で、蔵人陳韋仁氏との縁ができました。不思議な思いとこれからの期待にわくわくしてきます。同窓生の皆様のご活躍が何かの形で後世に繋がっていくことでしょう。

来年は日彰館創立125周年を迎えます。今後ともどうぞよろしくご支援ご協力をお願い申し上げます。

文責 事務局 雲井

同窓会本部からのお願い

1. 会費(1口 5,000円)を納入してください。
2. 会費(従来の終身会費)を既に納入されている方は、できるだけ増口をお願いします。
3. 本部運営協力金 500円以上の協力をお願いします。
4. 同封の払込取扱票をご利用ください。

※同窓会本部の運営活動は、皆様からの会費や協力金で支えられています。

同窓会報掲載の原稿を募集しています。

1. 各支部やクラス会等の様子
 2. 俳句や短歌など
 3. 在学時代の思い出写真やエピソードなど
- ※ 毎年6月末まで切ります。

事務局

〒729-4211 広島県三次市古舎町古舎 293-2 広島県日彰館同窓会事務局 TEL (0824) 43-2664

事務局長 雲井 一浩(昭和54年3月卒業) 携帯電話 090-9065-6742

(事務局は留守が多いので、携帯へご連絡くださいますようお願いいたします。)

● PC用 <http://nitsushoukan.com/> ● スマートフォン用 <http://nitsushoukan.com/sp/index.html>

● メールアドレス nikko-ds@p1.pionet.ne.jp